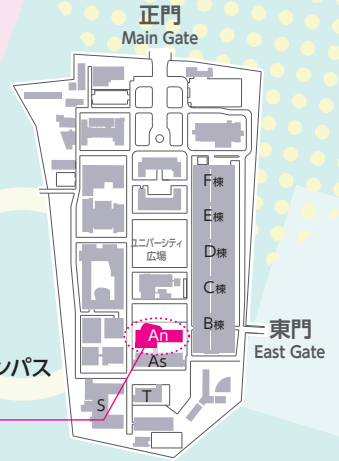


東京大学駒場リサーチキャンパス公開2026

# 生研講演会のご案内 6/5 Fri ▶ 6 Sat

会場：総合研究実験棟 (An棟) 2F コンベンションホール

駒場リサーチキャンパス  
(駒場IIキャンパス)



6/5 Fri

13:00-13:50



機械・生体系部門  
白樫 了 教授

## 食品加工の蒸し・乾燥 ～酒造と製茶について～

酒造で蒸米を「外硬内軟」の状態にしたり、製茶で茶葉を有効成分を保ちつつ効率よく乾燥したりするには、米や茶葉の中の水の移動を把握することが重要です。本講演では、米や茶葉の中の水の動きを測定・予測する研究について紹介します。

専門分野：相変化熱工学

受賞：文部科学大臣表彰若手科学者賞、冷凍空調学会学術賞、日本機械学会論文賞、等著書：食の安全科学の展開—食のリスク予測と制御に向けて、株式会社 シーエムシー出版(分担)等、学外での公的な役職：日本熱物性学会 会長、日本機械学会フェロー

6/6 Sat

11:00-11:50



基礎系部門  
紙田 徹 客員教授

## 宇宙を身近にするためのロケット軽量化

宇宙利用は今後の拡大が見込まれており、そこに荷物を運ぶコストを下げるには、ロケットの軽量化が常に重要課題です。この課題はロケット開発当初から研究がなされていますが、まだまだ十分とは言えません。そこで、宇宙をもっと身近なものとするために必要な軽量化という切り口で、構造軽量化に関する研究を紹介します。

平成6年 東京大学大学院工学系研究科博士課程航空学専攻修了、博士(工学)取得

専門分野はロケット等の宇宙輸送系の構造力学・材料力学・構造設計

JAXAで各種ロケットの構造系開発を担当しながら機体軽量化のための複合材料構造に関する研究に従事。

その後、インターステラテクノロジズ株式会社に転職しロケット「ZERO」の構造開発に従事するとともに本学の客員教授を拝命し複合材構造の研究を続けています。

6/6 Sat

14:00-14:50



人間・社会系部門  
竹内 渉 教授

## 宇宙から見える人と自然 ワンヘルス・ワンワールドの視点

地球のどこかでゾウが森を歩き、日本の山でクマが動いている。その様子を宇宙から見られるって知っていますか? 気候変動や土地の使い方の変化で、人と動物の距離はどんどん近づいています。この講演では、衛星とAIを使って「人と自然の境界線」を探る最新研究を紹介し、ワンヘルス・ワンワールドという考え方で、未来の共存を一緒に考えます。

衛星リモートセンシングとAIで野生動物と人間社会の関係を研究し、Nature-based Solution、水田メタン排出削減、道路や橋のインフラヘルス、森林火災による炭素放出や大気汚染モニタリングにも取り組む。タイに4年間滞在し、現在も年に数回アジア各国で調査を続け、世界の研究者と共に「人と自然の共存」を目指している。



東京大学生産技術研究所

Institute of Industrial Science, The University of Tokyo



詳しくはHPをご確認ください